

平成 20 年 2 月 25 日

各 位

不動産投信発行者名

東京都港区六本木六丁目 10 番 1 号  
六本木ヒルズ森タワー

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人

代表者名 執行役員

鈴木 博之

(コード番号：8981)

資産運用会社名

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート株式会社

代表者名 代表取締役

鈴木 博之

問合せ先 管理本部長

板橋 昇

TEL. 03-6439-0333

2008 年 1 月度の月次開示に関するお知らせ

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）の 2008 年 1 月度の月次総売上げ並びに宿泊部門の客室稼働率、ADR 及び RevPAR を下記のとおりお知らせいたします。本投資法人は変動賃料の支払いを伴うホテルであって、ホテル賃借人から開示について同意をうけることができたホテルについて継続的に月次開示をいたします。

## 記

ホテル名/項目	客室稼働率 (%)	ADR(円)	RevPAR(円)	売上高(百万円)
神戸メリケンパークオリエンタルホテル	60.5%	15,268	9,244	423
オリエンタルホテル 東京ベイ	70.3%	16,258	11,426	459
なんばオリエンタルホテル	82.9%	10,341	8,572	159
ホテル日航アリビラ	48.6%	24,024	11,667	290
オリエンタルホテル広島	48.3%	8,116	3,916	129

上記開示に関するジャパン・ホテル・アンド・リゾート株式会社（資産運用会社）からのコメント：

神戸メリケンパークオリエンタルホテルについて

宿泊部門について、稼働率は前年同月を下回ったものの、ADR は若干前年同月を上回った為、同部門の RevPAR 及び売上はほぼ前年同月並となりました。レストラン部門においては宿泊人数の減少に伴い朝食売上が減少し前年同月を下回りました。婚礼部門においては件数増加・件単価向上により前年同月を上回る売上となり、結果として、ホテルの総売上は前年同月を約 48 百万円上回る水準となりました。

オリエンタルホテル 東京ベイ（旧：新浦安オリエンタルホテル）について

宿泊部門について、東京ディズニーリゾートの来園者数が対前年同月比で下げる中で、ADR は前年同月比で上昇したものの、稼働率は下がった為、結果前年同月を下回る売上となりました。宴会部門も、修学旅行及び婚礼が弱含み、前年同月の売上を下回りました。その様な状況下においても、レストラン部門は、宿泊者数の減少による朝食売上の対前年比での下落を、昼食、夕食売上の増加でカバーし前年並

みになりました。結果的には、ホテルの総売上は前年同月を約 30 百万円下回る結果となりました。

#### なんばオリエンタルホテルについて

宿泊部門について、市場全体は底堅い需要状況であるなか、競合ホテルが改装の為休館となっていた前年の特殊要因が剥落したことにより稼働率は低下しましたが、ADR は前年同月を上回り、ホテル全体の売上は、前年同月とほぼ同水準となりました。

#### ホテル日航アリビラについて

宿泊部門について、年始の日並びが良かったことによりADRは前年を上回りましたが、年明け第2週からの客室改装の影響により稼働率は低下し、前年同月を下回る売上となりました。レストラン部門も宿泊人数が減少したことにより前年を下回りました。結果的には、ホテルの総売上は、前年同月を約95百万円下回る結果となりました。

#### オリエンタルホテル広島について

宿泊部門について、客室改装に伴う販売売止が発生しているものの、インターネットプランが好調だった為、客室稼働率・ADR 共に前年同月を上回り、同部門売上は前年同月を上回る結果となりました。レストラン部門においては、OZAWA・NY Cafe の客単価向上が奏功し、宴会部門においては、婚礼売上が件単価上昇により増加した為、両部門共に前年同月を上回る売上となりました。結果として、ホテルの総売上は約 129 百万円となりました。

- 
- 注 1) 上記のコメントは運用会社が賃借人から提供を受けた情報に基づいて作成しており、あくまでおおむねの傾向についての参考情報として記載するものにすぎません。コメント中に記載された数値・情報については、監査等の手続を経ているものではなく、運用会社による独自の検証を行ないうる性質のものでもなく、個々の数字・内容の正確性・完全性について保証できるものではありませんのでご注意ください。
- 注 2) 各月の数字については監査等の手続を経していないため、各月を合計した金額は、後に提出する半期報告書、有価証券報告書に記載される 6 ヶ月間及び年間の売上合計と合わない場合もあります。また、各月の売上についても、半期報告書、有価証券報告書に記載される各月の売上と相違する場合があります。
- 注 3) ADR : 平均客室販売単価 (Average Daily Rate) をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計 (サービス料を除きます。) を同期間の販売客室数合計で除した値をいいます。
- 注 4) RevPAR : 販売可能客室数当たり宿泊部門売上 (Revenue Per Available Room) をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計を同期間の販売可能客室数合計で除したものをいい、ADR と客室稼働率の積にて計算される数値と同値となります。
- 注 5) 客室稼働率については小数点第 2 位を、ADR、RevPAR については小数点第 1 位を四捨五入して記載しています。売上高については、百万円未満を四捨五入して記載しています。

以上

\* 本投資法人のホームページアドレス : <http://www.jhrth.com/>